

工事内容確認チェックシート(竣工)(耐震性) 2×4工法用

竣工現場検査時

現場検査申請書付表1-2-2

一戸建て等(一般用)
フラット35S
● 2×4工法用

工事内容確認チェックシート(竣工)(耐震性(免震建築物以外))

私は、竣工現場検査の申請にあたり、以下の基準について適合していることを確認しました。

申請物件は、住宅品質確保法第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の第5の1-1に定める耐震等級の等級

(※ フラット35S(金利Bプラン)「耐震性」は等級2又は3、フラット35S(金利Aプラン)「耐震性」は等級3の基準に適合する必要があります。)

2(※)に該当しています。

基準の概要	確認項目	確認内容	現場確認欄	備考
(フラット35S(金利Aプラン)の場合)は等級3に適合していること	土台、枠組	土台について、構造耐力上の欠点がないこと	☒	
		土台の継手位置が構造耐力上支障ない位置に設けられていること	☒	
		枠組材は所定の品質であり、所定の間隔であること	☒	
		アンカーボルトは所定の品質、埋込み長さ、位置であること	☒	
	耐力壁(面材の場合)	面材耐力壁は所定の位置、長さ、種類、厚さであること	☒	
		釘は所定の種類、間隔であること	☒	
	耐力壁(筋かい併用の場合)	面材耐力壁は所定の位置、長さ、種類、厚さであること	☐	
		筋かいは所定の方向、断面、留付であること	☐	
	準耐力壁	準耐力壁は所定の位置、長さ、種類、厚さであること	☒	
		釘は所定の種類、間隔であること	☒	
		準耐力壁の直上・直下の根太の支持距離が所定の長さであること	☒	
	床組等	床下張材は所定の種類、厚さであること	☒	
		釘は所定の種類、間隔であること	☒	
		天井根太の寸法、間隔、留付けが所定のとおりでであること	☒	
	屋根面	所定の勾配であること	☒	
		面材が所定の種類、厚さ、留付け間隔であること	☒	
		釘は所定の種類、間隔であること	☒	
		たる木の寸法、間隔、留付け状態が所定のとおりでであること	☒	
	接合金物	接合金物は所定の品質、種類であること	☒	
		たて枠上下端が所定の留付けであること	☒	
	基礎	基礎が所定の配置であること	☒	
		所定の寸法の根入れ深さであること	☒	
		立上がり部分の高さ、厚さ、底盤が所定の寸法であること	☒	
		主筋・補強筋が所定の径、位置であること	☒	
		開口部周辺等の補強が所定の方法であること	☒	

注1) 申請者、工事監理者又は工事施工者は、太枠で囲われたところをチェック又は記入してください。

注2) 「所定の」とあるのは、設計図書等に記載されている事項を意味しています。

2022年4月

工法(在来木造用、2×4工法用、RC造等用)に応じた付表を選択してください。

免震建築物以外の場合に、本シートをご利用ください。

どの等級を満たしているかを記入します。

上下に横架材や枠材のない面材で構成される準耐力壁、垂れ壁・腰壁について、壁の長さ、配置、構成部材の種類、面材の高さ、垂れ壁・腰壁の開口幅や両隣の状況等を確認し、チェックを入れます。

該当する項目全てにチェックすることが必要です。

機構承認住宅(設計登録タイプ)の場合は、本チェックシートの提出は不要です。

令和4年10月1日